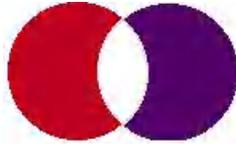


日韓市民ネットワーク・なごや

일한 시민 네트워크·나고야

会報 No.53
(急告版)
2010-12-3



発行者：後藤 和晃
〒483-8037 愛知県江南市勝佐町東郷 238
TEL/FAX 0587-56-6788
Mail:goto@nikkannet.jp
HP:http://www.nikkannet.jp/

★ 事務局通信 -----事務局 総括幹事：後藤 和晃

(1) “会員交流の夕”にご参加下さい！

～ 1月16日(日) ～

来る1月16日(日)の夕刻、17時30分から、名古屋駅東のイタリア料理店で久しぶりに会員の交流を主眼とした集まりを持ちたいと思います。

ここ数年間は、韓国からの交流団の歓迎会や留学生の激励会が多く、会員同志の交流・対話が十分に果たせていないうらみがありました。入会したものの他の会員の人たちとゆっくり話しあえる場が無かったという方々もいます。これらの事情もあり、会結成後14年目の1月早々に“日韓市民ネット”新春交流会を開催することにしたものです。

会員の中には多彩な“人のつながり”があります。交流団の受け入れを協力しながら行っているグループ、過去10年以上にわたって韓国や旧満州への交流史探求の旅を共にしてきた人たち、1945年の敗戦の後、かつての朝鮮や満州から引き揚げてきたという厳しい経験を共有する方々、さらに韓国学校をはじめ様々な語学校と一緒に韓国語を学んだ仲間たち等々です。

こうした皆さんが久しぶりに一堂に集い、様々な対話を通して、韓国に係わって行く事の楽しさや意義を確かめ合うのもいいのではないのでしょうか？

これまでの交流会は、主として韓国学校の教室を借りて、料理作りや会場設営、そして後片付けも会員で行ってきましたが、今回は全員がゆったりと対話に時間をかけられるよう、イタリア料理店を利用することとしました。参加要項は下記の通りです。新旧の会員の皆さんが、ぜひお気軽に参加いただくようお願いします。

会員交流の夕

日 付：1月16日(日曜日)

時 間：17:00～19:00

場 所：名古屋市中村区名駅四丁目 10番 22号

琥珀(コハク)ビル 2階伊太利亜食房ゼンゼロ

TEL 052-565-0001

会費：5000円(学生2000円)

申込：同封のハガキで返信していただく一方、同封の振込用紙で、
会の口座までお振込み下さい。

地図：琥珀(コハク)ビル 2階伊太利亜食房ゼンゼロ

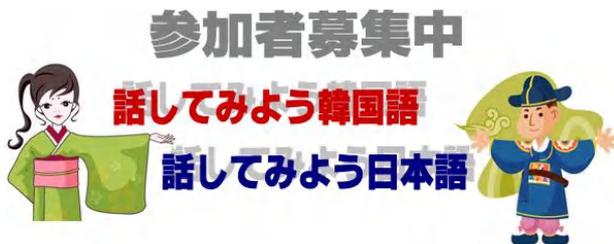


2) “韓国語で話そう・日本語で話そう”大会に協力します

この大会は韓国文化院やアジアナ航空などの後援や協賛で、これまで東京や大阪など全国 10 都市で開催されてきました。名古屋での開催がこれまでなかったことに着目した東海高校の教員、久田光政氏(日韓の高校生との交流を推進している団体ハムケの代表、日韓市民ネットの幹事)が実行委員会を名古屋で立ち上げ、第一回の愛知大会を下記により実施したいと意欲的です。

日韓市民ネットの幹事や事務局一同は、「趣旨には賛成」ということで協力することにしました。

実施に向けたPRや下準備は久田氏とハムケの若者たちが主体的に行っています。大会が実現する際には日韓市民ネットも若干の資金の協賛(今回限りということで審査員の交通費や留学生への賞などの一部を負担)や、大会終了後の参加者交流パーティの設営などを引き受けるつもりですので、会員の皆様のご理解をよろしく願います。



韓国語で話そう・日本語で話そう愛知大会

日時：2011年1月8日(土)13:00～19:00
場所：名古屋国際センター5階会議室
部門：韓国語スピーチ、日本語スピーチなど
賞品：ソウルへの航空券、ホテル宿泊券、図書券など

その他 詳細は実行委員会のホームページをご覧ください。

<http://hana-jk-aichi.com/blog/>

2, 会の活動予定

(1) “黄金の新羅”残影紀行を実施します

この10月から日韓交流史講座“黄金の新羅シリーズ”をスタートさせています。講座に参加している人が50人をこえるという大盛況ぶりで嬉しい悲鳴を上げています。このシリーズの一環として、2011年2月9日から13日まで4泊5日の現地への歴史探求の旅を実施します。

韓国の考古学会では新羅や伽耶の分野の第一人者として著名な慶北大学教授の朴夫香氏に案内してもらおうことになっており、新羅の真実に迫った充実した内容になることでしょう。

黄金の新羅残影紀行

2010-2012 韓国訪問の年 記念
VISIT KOREA YEAR

主催：日韓交流史フォーラム
協賛：韓国観光公社名古屋支社
後援：名古屋国際センター

No	月日	都市	交通	時間	主要旅程	食事
1	2011年 2/13 (日)	名古屋	KE754 専用車	13:10	セントレア空港 旅客ターミナルビル3階 国際線出発ロビー チェックインカウンターA (大韓航空) 横の待合所 集合	朝(×)
		金海		15:10	セントレア空港発	昼(機内軽食)
		大邱		16:50	金海国際空港着	
				17:15	空港発 ~ 高速経由にて 大邱へ 水崎林太郎翁が完成させた農業用水池・寿城池見学 夕食 (徐彰教・韓日親善交流会長と交流/予定)	夜(○)
宿泊(予定) : 寿城観光ホテル 大邱市寿城区斗山洞888-2						
2	2/14 (月)	大邱	専用車	7:00	ホテルにて朝食後、水崎林太郎翁のお墓参り	朝(ホテル)
		乾川		8:00	ホテル発 慶北大学・朴天秀教授 による解説	昼(○)
		慶州			不老洞古墳群 ~ (乾川) 金尺里古墳群 大陵園、路東洞古墳群、路西洞古墳群、月城、雁鴨池 皇竜寺跡、芬皇寺、五陵、鮑石亭、拜里三体石仏、三陵 三陵溪磨崖仏、塔谷磨崖仏、武烈王陵など 夕食	夜(○)
宿泊(予定) : 慶州 コーロンホテル						
3	2/15 (火)	慶州	専用車	7:00	朝食 ホテルにて	朝(ホテル)
		甘浦		8:00	ホテル発 四天王寺跡、善徳女王陵、神文女王陵、	昼(○)
		九龍浦			聖徳王陵、方形墳、仏国寺、石窟庵、骨窟庵、 感恩寺、文武大王海中王陵、九龍浦 夕食	夜(○)
宿泊(予定) : 浦項市 ビロスホテル						
4	2/16 (水)	浦項	専用車	7:00	朝食 ホテルにて	朝(ホテル)
		安康		8:00	ホテル発 興徳王陵、浄恵寺十三層石塔、羅原里五層石塔	昼(○)
		蔚山			栢栗寺、四面石仏、影池、掛陵、遠願寺、関門城 西洗浦倭城 ~ 釜山 海雲台・ホームプラス等で ショッピング 夕食	夜(○)
宿泊(予定) : 海雲台センタムホテル						
5	2/17 (木)	海雲台	専用車	7:00	朝食 ホテルにて	朝(ホテル)
		釜山		8:00	ホテル発 ~ 文祿慶長の役の遺跡見学	昼(機内軽食)
		金海		11:00	金海空港着	
		名古屋	KE753	12:45	金海国際空港発	
				14:10	セントレア空港着 入国後 集合の後、解散	夜(×)

3, 会員の広場

尾張平野に伽耶族の足跡を追う…… 在野一生

この二月から会のお世話になるようになりました。よろしく申し上げます。

十年ほど前に地域を案内する仕事を担当し、この地域が仏教導入をめぐる蘇我氏に敗れた物部氏の色濃い地域であることを知り、古代史の世界に親しむようになりました。ある時、某古社の加佐美大神という祭神を調べていて、伽耶との関係が浮かびあがってきました。初めて目にした同国の成り立ち、神話、民族性、製鉄技術力などを知れば知るほど興味が深まり、同時に、弥生以降～古墳時代における列島と同国との共通性や古墳、土器、地名などの深い関係に驚きを感じました。

伽耶について自分なりに精一杯学びつつも我流学の悲しさで、同国に関する情報、文献、研究成果、講演に出会う機会になかなか恵まれませんでした。ところが、偶然2009年に当会実施の研修情報に出会い、それがきっかけとなって韓日歴史文化フォーラム事務局→武井先生→後藤事務局長というルートで本会に加入させていただくことになりました。

東北アジア史をベースにおいて日本の古代を見つめていた私は、古代の実像について心ゆくまで話す相手がいない孤独感に襲われていましたが、後藤さんと初めてお話したとき一気に開放された気持ちになりました。その後も色々と助言やご紹介をいただきながら、体系的に学べる環境が整ってきましたので、いずれその成果を形にしたいと考えています。

ところで、尾張は古代春日郡でした。春日は和邇氏の固有地名です。尾張平野における前方後方墳から前方後円墳文化への移行(三五〇年～)時期、応神天皇以降和邇氏がよく登場する事、応神天皇が弓月(秦)氏と百二十県の民の渡来を迎えた事を総合すると、大和朝廷(日向族)、金官伽耶、和邇、秦、尾張各氏の密接な関係が想定されます。

他方で東之宮を初めとする前方後方墳群の存在は、大県・田県神社の存在からも先住出雲系の安羅・多羅伽耶族の痕跡という印象がします。このような視点から、今後さらに深く地域の古代像を見つめていきたいと考えています。

今年から岐阜の小研究会ではほぼ毎月、地域の古代像について頼りない小論を展開しています。もし関心がおありでしたら、原稿をお届けしますので気軽にお申し付けください。



筆者(左)忠南大朴淳発教授